

キミカ 本館

社員の声に応えた充実の新社屋

キミカは昨年10月、千葉プラントの敷地面積を約2倍に拡張し、オフィスと研究開発・品質管理ラボ、福利厚生施設を集約した新社屋「キミカ本館」を竣工した。社員の思い描く「ありたい姿」を設計に反映し、働きやすい環境を実現。さらに、至るところに環境配慮やサステナビリティを意識した工夫を施し、地域に、世界に開かれた施設を実現した。今回、プロジェクト推進室室長の笠原善太郎氏に施設内を案内いただいた。

キミカ本館 外観



プロジェクト推進室長 笠原善太郎氏

ユニークな設計アプローチ

キミカ本館は、千葉県富津市にある千葉プラント敷地内に建設された2階建ての施設である。外観は、同社の80年の歴史と伝統の重みを表す格調高いレンガ調の1階と、近未来を連想させる全面ガラス張りの2階が特徴的である。設計を手がけた類設計室は、さまざまな職種の社員を集めたワークショップを何度も開いて、社員一人ひとりの将来の夢や会社への想い、理想の働き方をヒアリングし、その想いを設計に落とし込むというユニークな方法を採用。部門間の壁を取り払った一体感のある組織、人を惹きつける魅せる社屋、サステナビリティを意識した施設、といった社員の志向を設計に取り入れた。

一体感のある組織へ、働きやすさと環境に配慮

同施設は、柱のないワンフロア構造が特徴

的である。特に2階のラボスペースは24m×70mの巨大空間となっており、これまでのラボスペースの4倍もの面積を誇る。また、1階と2階を行き来するクロス階段は建物の中央に設置。天然の木材がふんだんに使われた踊り場には、気軽に利用できるミーティングスペースが複数あり、活発なコミュニケーションを促進する。

施設の大半の空調は、輻射熱の特性を活かした次世代型輻射式空調システムを採用している。冬は地下水から熱を取り出し、夏は地下水に熱を吸収させるというシステムで、いつでも快適な気温を保つことができるだけでなく、環境負荷が極めて少ないという特徴をもつ。さらに、無風・無音であることから、ラボスペースで取り扱う粉体品が舞いにくいこと、より正確な検査を行えることなど、清潔感や精度向上にも貢献している。また、温度ムラが発生しにくいことから、ワンフロアの広い空間ながら、どこにいても快適に過ご

すことができる。

一方、万が一の災害対策も万全だ。浸水に備えて精密機器がそろうラボスペースを2階に配置したほか、非常用発電機や太陽光パネルを設置し、有事の際にも供給責任を果たし続けるための電源を確保している。さらに、アルギン酸抽出後に発生する海藻残渣を緑地の肥料として活用して資源を有効活用するなど、人と地球にやさしい施設づくりを実現した。

開放感のある1階オフィス

1階はオフィスとして機能し、面積は従来の3倍に拡大している。内装は木とガラスを使用し統一感のあるデザインだ。席はフリーアドレス制を採用し、社員同士の自由な交流を促進する。また、オフィスに設置されたモニターでは同社のニュースや新入社員紹介などのインフォメーションが流れており、自然に社内間の情報共有ができるよう工夫が施されていた。

近未来的なデザインの2階ラボスペース

2階に上がると、1階とは一転、白で統一された空間が広がる。品質試験ラボとR&Dラボが一体化した巨大な実験スペースと、外の景色を望む全面ガラス張りの廊下が印象的である。

一般にラボスペースは閉塞的な構造になりがちであるが、同社のラボは全面ガラス張りで極めて開放的だ。外に面するガラスが三重構造になっていることに加えて縁側を思わせる廊下を挟むことで、外の熱や紫外線がラボに侵入することを防ぎ、開放的ながら安定した試験環境が実現されていた。さらに、三重ガラスの間には電動ブラインドが上下する空間があるため、日差し対策も万全である。取材当日、寒風が強烈であったが、窓際にも寒さを感じないほど、断熱性能は効果てきめんだった。

ラボには、機器分析室や微生物試験室、

GMP試験室などもあり、それぞれの試験室は扉で区切り、安全かつ確実な試験が行える環境としている。

2階には、100名を収容できるセミナールームや食品ラボが並ぶ。セミナールームはパーティションで半分に区切ることもでき、用途や人数に応じた調整が可能。社内外を問わないミーティングやセミナー、勉強会などに利用できる。食品ラボには製麺機や製パン機、フライヤー、オープンなどさまざまな調理機器が並び、あらゆる食品の試作に対応する。

地域に開かれた、地元で誇れる企業に

キミカ本館の前面にフェンスはなく、道路に面した広々とした緑地が地域に開放されている。新社屋が地元のシンボルとなり「富津市といえばキミカ」と周囲に言われるような会社をめざしたいという社員の想いを反映した結果だという。キミカは、地域との調和を図りながら、グローバル企業として事業を大きく展開していく。



① クロス階段 ② オフィスフロア
③ ガラス張りの2階廊下 ④ アプリケーションルーム
⑤ ラボスペース